

第2510地区 第11グループ



2006~2007

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報

2006~07年度
国際ロータリーのテーマ

率先しよう



2006~07年度
国際ロータリー会長

ウィリアム B. ボイド

柴崎 晃 会長 テーマ — 今、出来る事から始めよう —



5月30日 薮下 義晴 会員

《第2107回例会》 第44号 6月6日(水)

本日のプログラム

「第4回クラブアッセンブリー」

★会長 柴崎 晃 ★幹事 山下清司

例会場：函館国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務局：函館市大手町5-10 ニチロビル4F TEL23-3870

新 合 名 会 社

代表社員 新 博 夫

〒042-0935 函館市駒場町6番11号

TEL(0138) 54 - 2510

(広告掲載：新 博夫 会員)

函館北ロータリークラブのホームページアドレス <http://www.hakodate-north.org/>

◎5月20日出席報告

会 員	31名	出席率対象会員	30名
		出席規定免除会員	1名
		出席率規定免除会員	0名
当日出席	12名	当日欠席	18名
他クラブ出席	11名	出席合計	23名
出席率	76.67%		

・テレフォンサービス(例会移動案内)電話 26 - 3170 番

次回・6月13日
プログラム

夜間例会「柴崎会長 お疲れ様パーティ」

函館ハーバービューホテル 午後6時30分～

5月30日の記録

◎司 会 柴崎 晃 会長 ◎斉 唱 奉仕の理想、四つのテスト

◎ビジター 函館五稜郭R.C.大田英雄君・石沢 真 君

◎会長挨拶 柴崎 晃 会長

○特にありません。

◎委員会報告 石橋 輝夫 会長エレクト

○本日午後6時30分より次年度正副委員長会議を開催します。

○例会終了後、次年度理事会を開催します。

○今年度のハーフマラソンは参加の方向で検討中です。

●親睦活動委員会 松見 修二 委員長

6月13日は「会長さよならパーティ」です。会場はハーバービューホテルになりますのでお間違えのないように。

●会報委員会 弗田 和則 委員長

次年度より会報の印刷は渡部会員のところになります。

◎幹事報告 山下 清司 幹事

○特にありません。

◎親睦活動委員会 弗田 和則 委員長

ニコニコBOX投入報告

柴崎 会長……薮下さんの卓話楽しみにしています。

山下 幹事…… ”

森 会員……BOXに協力。

斎藤 会員…… ”

泉 会員…… ”

薮下 会員……今日は卓話です。よろしく願います。

増田 会員……ホームページに写真載っていました。少々はずかしいです。

小笠原会員……BOXに協力。

石橋 会員……正副委員長会議よろしく願います。

竹谷 会員……結婚月です。

◎卓話 「次年度地区の話」 次年度地区幹事 薮下 義晴 会員

皆さんこんにちは、「次年度地区の話」との事でございますが、最初に地区の組織について簡単に触れておきます。

皆さんご承知のように、ロータリークラブはそれぞれ、国際ロータリー(R I)の構成メンバーであります。

地区は、R Iの管理の便宜上結びつけられた、一群のロータリー・クラブの所在する地理的地域であり、ガバナーは所轄地区のクラブによって指名され、R I国際大会において選挙されるR I役員であります。

地区内のクラブの管理は、ガバナーの直接監督下に置かれます。

また、ガバナー補佐の助言を得てガバナーが公式に設定する地区目標を、実行する事を託されているのが地区委員会であり、さらに地区幹事については、「ロータリーに精通し、かつ地区会合の経験も豊富なロータリアンで、地区会合の準備、適切な書簡処理、諸地区会合の議事録の編集、諸種の記録保存等の日常の管理事務の面でガバナーを補佐できる者でなければならない。」となっております。

次年度のガバナーは、函館五稜郭ロータリークラブ所属の酒井正人会員が就任される事は皆さんご存じの通りです。函館からガバナーを出すのは、函館クラブの故北村実P Gガバナー以来15年振りという事になります。

先ほどの地区幹事の定義からすると、私など全く当てはまらないのですが、15年前に、酒井エレクトと同じ年度にクラブ幹事を務め、岩城ガバナーの年度に酒井エレクトがガバナー補佐で、私は当クラブの会長でありました。さらに、塚原ガバナー年度に、私がガバナー補佐を務めたため、まだ忘れないうちにガバナー補佐担当の地区幹事をやるようにと勧められ力不足を省みず引き受けました。

補佐会議の準備や司会などを担当し、自分の知識不足を痛感しながらも何とか務めております。

次年度R I会長、ウイルフリッドJ・ウイルキンソン氏(カナダ・オンタリオ州税務会計事務所・公認会計士)はR Iテーマを「ロータリーは分かち合いの心」とし、強調事項を、①水保全、②識字率向上、③保険と飢餓救済、④ロータリー家族としました。また、酒井ガバナーエレクトは、地区の目標として、①ロータリーの楽しさを分かち合おう、②財源を分かち合おう、③奉仕を分かち合ひましよう、の3点を掲げました。

詳しい内容については会長セミナーや、地区協議会でお話しされましたし、また公式訪問などでお話しされる事と思いますので、今日は簡単にお話しします。(中略)

なお、水保全は今年度も強調事項として掲げられております。

最近よく耳にする地球の温暖化ですが、この問題はあらゆる生物が生きるために欠かす事の出来ない「水」に直結するわけです。

「ロータリーの友」4月号に現R I会長の「環境問題を考える」と題するメッセージが載っておりますが、皆さん読まれたと思います。内容は省略いたしますが、この様ま報道は最近非常に多く、それだけ地球の環境が蝕まれ、特に二酸化炭素(炭酸ガス)の影響による大気温暖化が進み、結果、世界規模で砂漠化が進んでいます。これらは最終的には「水」問題に繋がっているのです。(紙面の都合で資料の説明など省略)

ロータリーの奉仕活動と同様に、私たち一人一人の環境に対する気遣いが大きな環境破壊防止に結び付いていくわけです。

いろいろ話が飛びましたがこれで終わります。ご静聴ありがとうございました。

なお、次年度ガバナーが函館からという事で、地区協議会など種々の会議が函館で開催されることが多く、また「ガバナー月信」始め地区からの発信業務も多く、それぞれの担当幹事は準備・運営などに忙しい日々を送っております。

何と言っても最も大きなイベントである、10月20・21両日、函館五稜郭ロータリークラブがホストクラブとなり開催されます地区大会が、地区内外から参加される会員に対し、函館の良さを充分感じてもらえる様にと知恵を出し合い準備を進めているところですので、今後のご協力宜しくお願いいたします。